平成25年度

指定管理者評価シート

1 基本情報

施設名	千葉市ことぶき大学校	指定管理者	千葉市ハーモニープラザ管理運営共同事業体 （社会福祉法人　千葉市社会福祉事業団）
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課

2 管理運営の実績

（1）主な実施事業

①指定管理事業

事業名	実施時期	事業の概要
専門講座	全28回	福祉健康学科・美術学科・陶芸学科・園芸学科
地域活動実践講座	全11回	地域活動・ボランティア活動のきっかけを作る講義を実施し、活動の体験の機会を設定するなど、学生の地域活動の推進を図る。
多世代交流講座	（陶芸） 7月22日～25日 8月19日～26日 （園芸）11月10日	陶芸・園芸を通じて小学校児童と学生が交流を図る。
公開講座	8月19日～30日（全10回）	市内在住の市民を対象に福祉・美術史・陶芸等の講義を実施

（2）利用状況

①学生数　（3月31日）

H25年度 (A)	H24年度 (B)	前年度比 (A)/(B)	H25目標値 (C)	達成率 (A)/(C)
167	169	98.8%	240	69.6%

②定員に対する学生数の割合

H25年度 (a)	H24年度 (b)	対前年度増減 (a)-(b)	H25目標値 (c)	対目標値増減 (a)-(c)
69.5%	70.4%	-0.9%	100.0%	-30.5%

※定員数　4学科×2クラス×1クラス30名　＝　240名

（3）収支状況

①収入実績（千円）

	決算額 (A)	計画額 (B)	計画比 (A)/(B)	備考
指定管理委託料	29,338	29,338	100.0%	その他は、前期末支払資金残高
その他	1,540	0	―	
合計	30,878	29,338	105.2%	

②支出実績（千円）

	決算額 (a)	計画額 (b)	計画比 (a)/(b)	備考
人件費	8,016	8,667	92.5%	その他は、事業区分間繰入金支出（前期末支払資金残高と同額の支出を含む）及び固定資産取得支出
事務費	3,371	3,630	92.9%	
事業費	14,067	15,375	91.5%	
その他	3,207	1,666	192.5%	
合計	28,661	29,338	97.7%	

③収支実績（千円）

決算額(ｱ) (A)-(a)	計画額(ｲ) (B)-(b)	対計画額増減 (ｱ)-(ｲ)
2,217	0	2,217

（4）指定管理者が行った処分の件数

＜処分の状況＞

処分の種別	処分根拠	件数
使用許可	－	－
使用不許可	－	－
使用の制限	－	－

（5）市への不服申立て

＜件数＞　　0件

＜概要＞

(6)情報公開の状況	

＜関連文書の公開状況＞

文書名	公開方法(場所)		
	当該施設	市政情報室	左記以外の方法
基本協定書	○	○	－
年次協定書	○	○	－
事業計画書	○	○	－
事業報告書	○	○	－
計算書類	○	○	－
定款、寄付行為、その他これらに類するもの	○	○	千葉市社会福祉事業団HP

＜文書開示申出の状況＞

申出先	開示	不開示	合計
指定管理者	0　件	0　件	0　件
市政情報室(経由)	0　件	0　件	0　件

※開示決定がなされた事案の概要

※不開示決定がなされた事案の概要

３ 利用者ニーズ・満足度等の把握

（1）指定管理者が行ったアンケート調査の結果

①アンケート調査の実施内容

より良い学校運営を図るため、志望動機、学校行事、教育目標及び満足度等について学生アンケートを実施した。

ア　調査方法

	実施時期
１学期	平成25年 6月24日～ 7月 5日
２学期	平成25年11月25日～12月 6日
３学期	平成26年 2月17日～ 2月28日

イ　対象者数及び回答者数（延べ人数）

対象者数	回答者数	回答率
511人	481人	94.1%

②調査の結果

【１学期】

入学の志望理由について（自由記述）

	回答者数
ボランティア活動を行うため	18
知識・技能の習得	72
仲間づくり	12

【２学期】

（１）学校行事について

	とても良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった
スポレク大会について	33%	53%	10%	4%
大学祭について	29%	58%	12%	1%

（２）専門講座について

	とても良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった
授業内容・進捗状況	27%	63%	8%	2%

（３）ボランティア・地域活動実践講座について

	とても良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった
体験活動報告会について	19%	67%	12%	2%

【３学期】

（１）教育目標について

ア　自己の教育	はい	いいえ
基本的な知識や技能の習得ができた	91%	9%
社会参加の大切さを学んだ	95%	5%
地域活動への理解が深まった	93%	7%
卒業後も学び続けたい	98%	2%
イ　地域や多世代の人との交流	**はい**	**いいえ**
多世代の人と交流が図られた	74%	26%
多世代交流はいいことだと思う	99%	1%
ウ　地域社会への参加と仲間づくり	**はい**	**いいえ**
仲間ができた	89%	11%
生きがいにつながった	82%	18%
エ　ボランティア人材育成	**はい**	**いいえ**
地域活動が身近に感じるようになった	88%	12%
地域活動の体験ができて良かった	88%	12%
卒業後、地域活動に参加したい	91%	9%

（２）ことぶき大学校の満足度について

	とても満足	満足	やや不満	不満
学生生活の満足度について	31%	57%	11%	1%
専門講座の満足度について	30%	59%	10%	1%
地域活動実践講座の満足度について	13%	66%	20%	1%

③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応

・地域や社会に少しでも貢献できたらと思う。
・地域活動やボランティア活動に関する講座・体験学習が専門講座と並んで重要なカリキュラムであることをもっと宣伝すべき。
・クラスメイトの上下関係がなく、楽しく学習ができた。
・ボランティア活動を漠然としたいと思っていたが、具体的にいろいろと講義していただき参考になった。
・大学校の教育目標を知らなかったので、なぜ地域活動なのか不満であった。
・2年制に戻すことを検討してほしい。
・欠員があるときは卒業生の参加を認めてほしい。

【対応】

・ことぶき大学校の運営目標を達成するために、対応可能なものについては今後の運営に生かしていく。

（2）市に寄せられた意見、苦情	
①意見、苦情の収集方法	市ホームページに所管課の連絡先（電話番号、Eメールアドレス）を明示。 市への意見や苦情は、電話、Eメール、市長への手紙等で行われる。
②意見、苦情の数	0件
③主な意見、苦情とそれへの対応	

４　指定管理者による自己評価

・事業計画に基づき、適正に事業を実施した。
・広報活動については、ホームページの一新、パンフレットのリニューアルや配布部数の増加などを行い、大学校の魅力発信に努めた。これらの活動を今後の学生数増加につなげていきたい。
・学びの充実と、交流による仲間づくりを目指して、各クラスごとに新たにロングホームルームの時間を設けた。結果として「仲間づくり」の点で89%（24年度：55%）、「生きがいづくり」の点で82%(24年度：29%）と24年度に比べて満足度が飛躍的に向上した。
・ボランティア活動においては、市内の地域活動団体との交流やクラブ活動におけるボランティア活動の支援、ボランティアコーディネーターとの面談など様々な取り組みを行った結果、相談件数の向上や卒業後も継続してボランティア活動に取り組みたいという意識の向上につながったと考えている。

５　市による評価

評価※1	A	所見	・良好な管理状況であると言える。 ・ボランティア活動等への支援として、新たに地域活動団体との交流事業を実施したほか、体験参加やボランティアガイドブックの作成、コーディネーターによる相談などを実施した。これらの取組みにより「卒業後もボランティア活動に取り組みたい」という学生が全体の90%を超え、学生生活おいてボランティア活動への参加意識の向上が醸成されたことは高く評価する。 ・また、グループミーティングや各区活動団体の紹介・交流会などの取組みにより、コーディネーターへの相談件数は増加しているが、相談後も活動状況の把握や情報提供など継続して支援することが望まれる。

履行状況の確認

確認事項		履行状況※2	備考
（1）市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理、その他市長が定める基準			
関係法令等の遵守	情報公開	2	千葉市社会福祉事業団で規定する情報公開規程に基づいて適正に実施している。
	個人情報保護	2	千葉市社会福祉事業団で規定する個人情報保護規程に基づいて適正に実施している。
モニタリング等の実施	アンケートの実施	2	アンケートを実施して意見の集約を行い、その結果を事業報告書として作成している。
	自己評価の実施	2	提案内容については、おおむね達成しており、自己評価は妥当である。
	苦情解決体制	2	苦情解決責任者及び担当者を設置し、対応を図っている。
	利用者からの苦情・意見等への対応	2	苦情・意見に対して、職員全員でその内容の共有を図り、再発防止に取り組む体制を整えている。
リスク管理	危機管理の対応	2	施設内で発生した事故について適切に対応し、事故後の保険対応なども速やかに行っている。
	賠償対応・保険加入	2	施設内の事故に対して施設賠償保険に加入し、適切に対応できるよう努めている。
市内業者の育成	市内業者の登用	2	資材の購入等において、市内業者の利用に努めている。

市内雇用・継続雇用への配慮、障害者雇用の確保、男女共同参画の推進	市内雇用の確保	2	非常勤職員は、市内在住者を雇用している。
	継続雇用の確保	2	本人の希望で退職する場合を除き、業務に従事している者は、引き続き雇用している。
	障害者雇用	2	障害者雇用に努めてはいるものの、機会がなく雇用にはいたっていない。
	男女の均等な機会と待遇の確保	2	男女の均等な機会と待遇の確保に努めている。
複合施設の管理協力体制の構築	ハーモニープラザ内の他施設との管理協力体制の構築	2	ハーモニープラザを構成する各施設で管理運営共同事業体協議会や管理運営会議、各種委員会を開催し、協力体制を図っている。
（2）施設の効用の発揮、施設管理能力			
利用者サービスの向上	休館日の利用	2	ことぶき大学校が休講となる日には、プラザ内施設の他事業で空き教室を利用できるよう有効活用している。
利用促進の方策	施設ホームページの作成	2	ホームページを全面的にリニューアルし、学科案内や地域活動の紹介など積極的に情報発信に努めた。
	事業の広報活動	2	ホームページによる周知のほか、パンフレットをリニューアルした。 配布先も町内自治会や民間事業所など幅を広げ、より多くの市民に大学校の活動を周知した。
職員の配置・能力向上	職員配置	2	計画通り適正に職員を配置している。
	施設内研修の実施	2	現場で実務に携わりながら業務に必要な知識・技術の習得を図るためOJTを行った。
	施設外研修の実施	2	実務に必要な知識や技能の習得のため、施設外で行われた研修に参加した。
管理業務の実施	備品管理	2	備品台帳を作成し、適正に管理している。
事業の実施	専門講座の実施	2	一部カリキュラムの見直しを行い、学科ごとの専門講座を計画に基づき実施した。
	多世代交流講座の実施	2	小学生とことぶき大学校の学生の交流の場として、陶芸講座、園芸講座を実施し、多くの参加者が集まった。
	地域活動・ボランティア活動の支援	3	学生のボランティア活動の支援を積極的に行い、90%を超える学生から「卒業後もボランティア活動に取り組みたい」という回答を得るなど、学生生活を通じて参加意識の向上に努めた。
	学生自治会活動の支援 （大学祭）	2	学生らが自主的に組織する学生自治会が主体となって実施する大学祭を支援した。
	学生自治会活動の支援 （クラブ活動）	2	クラブでのボランティア活動を支援した結果、延べ1,156人の学生がボランティア活動に参加した。
	学生自治会活動の支援 （スポーツ・レクリエーション大会）	2	学生自治会主催の行事として青葉の森公園陸上競技場で実施した大会を支援した。
	ハーモニープラザフェスタの実施	2	ハーモニープラザフェスタでは、参加企画数を5から9に増やし、より積極的に大学校のPRに努めた。
自主事業の実施	公開講座の実施	2	講座数を7から10に増やし、いずれの講座においても良好の満足度を得ている。

緊急時の対応	避難訓練の実施	2	ハーモニープラザ全体で年に2回防災訓練を実施している。
	マニュアルの整備	2	災害、事故、感染症等緊急時に備え、緊急対応マニュアルを整備している。
	緊急時の体制	2	緊急対応マニュアルに基づいて緊急時の体制を整備している。
地域との連携	地域住民との交流	2	ハーモニープラザフェスタの開催等、地域住民との交流を促進する取り組みを行っている。
（3）管理経費の縮減			
支出見積の妥当性	計画通りに予算が執行されているか	2	概ね計画通りに予算が執行されている。

合計	69
平均	2.03

※1　評価の基準について

S…仕様、事業計画を超える実績・成果が認められるなど、管理運営が特に良好に行われていた。

A…概ね仕様、事業計画通りの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていた。

B…仕様、事業計画通りの実績・成果が認められず、管理運営に関して改善を要する事項があった。

※2　履行状況について

3点・・・仕様、提案を上回る実績・成果があった

2点・・・仕様、提案どおりの実績・成果があった

1点・・・仕様、提案どおりの管理運営が行われなかった

６　保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

・財務状況については、本委員会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。
・管理運営については、概ね適切に管理が行われていると認められるが、次の事項に留意されたい。
①リスクマネジメントについて、より一層努めていただきたい。
②ボランティア活動をさらに促進していただきたい。